



# 精密工学会九州支部ニュース

第 12 号

2006 年 10 月

## 精密工学会九州支部長就任にあたり

精密工学会九州支部長 鈴木 裕

平成 18 年 4 月より、2 年の任期で精密工学会九州支部長に就任しました。九州支部は現在、学生会員 59 名、正会員 260 名、賛助会員 6 社、名誉永年会員 5 名、フェロー会員 1 名、計 325 名で構成されており、全国の支部組織と比較して、構成員数が少ないという訳ではありません。ただし、賛助会員数を増やす努力は必要かと思えます。また、研究者が九州一円にあり、それぞれ活発な活動を行っていることから、九州支部としての一体感がもう少しでるような活動も必要ではないかと思えます。九州には、幸いにして加工技術に携わっておられる研究者が多く、また、得意分野が、切削加工、研削加工、超精密加工あるいは CAD/CAM とバランスが取れています。加工関係の研究者が全国的に減少傾向にあるなか、九州地区はある意味で特異な地域と言えるかと思えます。こうした特性を生かした支部の運営を心がけて行きたいと考えています。

以下に、現在考えている活動方針を示したいと思います。これらはいくまでも、これまで培ってきた活動に、少しのアイデアを付加したものです。

### 精密工学会九州支部の運営に関して

前述しましたように、会員数の増強が一番の課題かと考えています。前支部長の熊本大学安井先生のご努力により、賛助会員は、回復傾向にあります。支部の財政健全化のためにも、会員皆様のご協力をお願いいたします。

また以下に示します活動において、出費を見直し、収支モデル案を作成の上、赤字を極力出さない運営を心がけたいと思えます。

### 精密工学会九州支部学術講演会のあり方

九州支部学術講演会は九州支部に所属する研究者が集まれる唯一の機会です。情報交換の場でもあり、懇親を深める場でもあります。それと将来を背負ってたたなければならない

学生達を育てる絶好の機会でもあります。大学、高専あるいは研究室を越えた交流を学生たちも持てるような企画を考えていきたいと思えます。

卒研中間発表会を独立させ、学生に運営を任せる方針を今年度北九州での講演会から実施に移します。

### 精密工学会九州支部の活動に関して

これまでも、支部としての講演会は実施してきました。この方針に変わりはありませんが、参加費の見直しと、企画立案を特定の個人に任せるのではなく、複数の商議員メンバーで行うようにします。年 2 回、4 月と 10 月に講演会を実施したいと思います。4 月には、支部総会も開催し、10 月は、各県で実施の予定です。従来、支部総会は、支部学術講演会に行ってきましたが、種々の報告と予定を審議していただく時期としては、若干遅いことから、他の支部の状況に合わせたいと思えます。

以上 3 つの活動方針案のもと、支部長の重責を果たせればと思えます。またメールによる情報発信と支部ホームページの活用により、ガラス張りの運営を心がけたいと思えます。幸いにして、すでに 2 回実施しました精密工学会九州支部主催の産学官技術交流セミナーも多くの参加者があり成功裏に終えることができました。今後も健全な精密工学会九州支部の活動を継続できるよう努力していく所存です。会員各位のご協力をお願い申し上げます。

## 第2回産学官技術交流セミナー 開催報告

### テーマ【燃料電池の開発動向と加工技術に求められるもの】

精密工学会九州支部では、九州各県の企業の皆様に、モノづくりに関わるアンケート調査を実施し、産学官技術交流セミナーを企画いたしております。この度、第2回セミナーを表記テーマで開催し、65名の参加者が聴講されました。また、ポスターセッションでは、大学・高専ならびに公設研究機関が所有する固有の技術についても、参加企業の皆様との交流の場となりました。

開催日：平成18年9月28日（木）

会場：九州ヒューマンメディア創造センター

協賛：福岡県工業技術センター、佐賀県工業技術センター、  
長崎県工業技術センター、熊本県工業技術センター、  
宮崎県工業技術センター、沖縄県工業技術センター、  
精密工学会九州精密技術研究会、  
九州モノづくり技術の伝承と創成に関する研究分科会

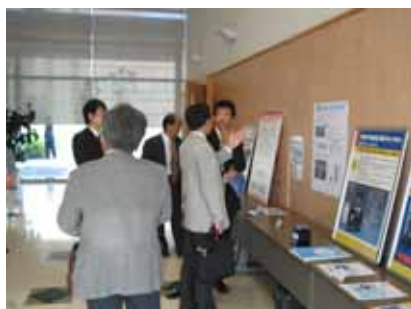
- 講演：1) トヨタ自動車株式会社 石黒 恭生氏  
「自動車用燃料電池開発における生産技術への期待」  
2) 株式会社東芝 佐藤 裕輔氏  
「携帯機器への燃料電池の応用」  
3) 東陶機器株式会社 上野 晃氏  
「TOTOにおける定置型 SOFC セルスタックの開発状況」  
4) 株式会社サイベックコーポレーション 平林 健吾氏  
「超精密プレス加工技術による PEFC 用メタルセパレータの量産技術」  
5) 株式会社 FC-R&D 中島 宏氏  
「高密度記録技術の燃料電池への応用と量産化技術について」



【 講演会 】

ポスターセッション：研究シーズの紹介

ポスターセッションでは、17社の企業と大学・高専・県工業技術センターなど公設機関から、合わせて29件出展されました。



【 ポスターセッション 】

■ 支部ニュース12号 掲載記事

- 1) 支部長就任挨拶(鈴木 裕:九州工業大学教授)  
【 精密工学会九州支部長就任によせて 】
- 2) 第2回産学官技術交流セミナー 開催報告  
テーマ:【燃料電池の開発動向と加工技術に求められるもの】  
開催日: 平成18年9月28日(木)  
会場: 九州ヒューマンメディア創造センター

- =====
- 本ニュースへのご感想・コメントをぜひお寄せください  
宛先: [jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp](mailto:jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp)

=====

■ 参照先・問合せ先

- ・九州支部ホームページ : <http://kyushu.jspe.or.jp/>
- ・メールアドレス変更・配信停止 : [jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp](mailto:jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp)
- ・ニュースレターに関する問合せ : [jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp](mailto:jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp)

九州支部ニュースに関する御意見・御寄稿のお願い  
支部ニュースに御意見や御寄稿などございましたら、九州支部までお寄せ下さい。

会員御勧誘のお願い

学会活性化のために、正会員・学生会員・賛助会員の増加を計画しております。  
身近な方で精密技術に御関心のある方がいらっしゃいましたら、是非入会をお勧め頂ければ幸いです。  
入会のしおりは支部にございます。お気軽にご請求下さい。

.....

精密工学会九州支部ニュース 第12号 2006年10月発行

発行所 精密工学会 九州支部  
〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39番1号 熊本大学工学部機械システム工学科内  
TEL/FAX : 096-342-3762 E-mail : [jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp](mailto:jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp)  
Homepage : <http://kyushu.jspe.or.jp>  
精密工学会九州支部ホームページにて詳細情報を公開しています。

.....